

我が社の地球温暖化防止実行計画

事業所名 石川建設工業株式会社

策定年月 17年10月

1. 事業内容

官公庁及び民間が発注する土木構造物の築造及び業務管理

2. 事務・事業から排出される温室効果ガスの主な要因

本社・資材置き場

- a. 定常的に使用する電気（電灯・コンセント・動力電源）、業務に使用する車両のガソリン並びに軽油の消費、暖房用灯油

施工プロジェクト

- a. 臨時的に使用する電気（電灯・コンセント・動力電源）並びに暖房用灯油

3. 温室効果ガスの削減目標（目標年度：17年度、基準年度：15～16年度の平均値）

二酸化炭素排出量を133.28tから131.88tにする。（1.1%削減）

（内訳）

電気使用量	1.7%削減
ガソリン使用量	1.0%削減
軽油使用量	0.9%削減
灯油使用量	2.0%削減

4. 温室効果ガス削減に向けての主な対策

（1）電気使用量の削減

- a. 業務中は必要最小限のスペースのみ点灯する。
- b. 屋内に電気スイッチの消し忘れ等の注意を促す掲示を行う。
- c. 各コンセント・スイッチ類に節電ステッカーを貼る。
- d. 過剰な照明器具を取り外し、無駄な照明を無くす。
- e. 昼食休憩時間は消灯を心掛ける。
- f. 冷暖房の温度を適正に設定する。（冷房28 / 暖房20）
- g. カーテンやブラインドを活用し、冷暖房効果を高める。
- h. OA機器や家電機器は使用しない時、電源を切る。
- i. OA機器や家電機器は省エネ型商品を積極的に購入、使用する。

(2) 燃料使用量の削減

- a . 車両更新には低燃費・低排出ガス型車両を購入。
- b . アイドリングストップの取組みをステッカーで表示し、各車両に貼り付ける。
- c . 車両の運行には法定速度を遵守し、急発進、急加速、空吹かしをしない。
- d . タイヤの空気圧を適正に保つ等、こまめな車両点検整備を行う。
- e . 冬季暖房器具の設定温度を適正に保つ。
- f . 冬季暖房器具の点検整備をこまめに行う。
- g . 余分な燃料購入を行わない。

5 . その他の環境対策

(1) 紙・水の使用量の削減

- a . コピー用紙は使用量を管理把握し、削減に努める。
- b . コピー用紙は原則として両面を使用。
- c . 連絡用紙の代替として、積極的に電子媒体（電子メール等）を使用。
- d . 節水型の器具を使用する。

(2) 廃棄物の削減

- a . 廃棄物の分別収集による再資源化。
- b . 紙類の古紙への再資源化率向上。
- c . 原材料の使用量を精査し、材料ロス率の低減を図る。
- d . O A 機器への再生部品使用や文具への積極的な部品交換。
- e . 古くなった制服の再生業者への引渡しや、使い古し軍手の再生利用。

(3) グリーン購入推進への積極的な取組み

(4) 環境活動意識向上の為の社員への教育研修

問い合わせ先 石川建設工業株式会社 担当 泉 繁樹
T E L 076-268-0281 F A X 076-268-1730
U R L <http://www.ishikawa-kk.co.jp>